

2021年度 活動報告書

目次

I 全体概要

II 活動の詳細

- 1 海外事業
 - 2 国内事業
-

III 活動の実施体制

IV ボランティアの振り返り



I 全体概要

コロナの影響で活動しにくい状況が続きました。そんな中でもできるだけ、通常の活動を止めないように、海外の生産者の女性たちや国内の情報発信などを続けてきました。国内では学生たちのグループやボランティアのみなさんが中心になって進められたプロジェクトもあります。

2021年度の方針として、海外事業では「協働によるフェアトレード販売の促進」を掲げました。ボランティアや学生グループのアイデアから製品が開発できたり、販促につながられたりできました。2019年度から、動かない在庫を減らす方針を取ってきましたが、2019年度は2,376点、2020年度は1,960点、そして2021年度末では1,740点と3年間で26.7%減らすことができました。

また国内事業では「相談体制と情報発信の充実」を2021年度の事業方針に掲げました。気軽に相談や話をしてもらえる「つどいの場」を定期開催したり、タガログ語の情報発信も拡充できました。また、情報発信では、フィリピン人コミュニティグループの「マサヤンタハナン」と、相談活動では女性支援団体など外部の団体とも連携しながら事業に取り組むことができました。



II 活動の詳細

1 海外事業

(1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

① フェアトレード生産者のエンパワメント

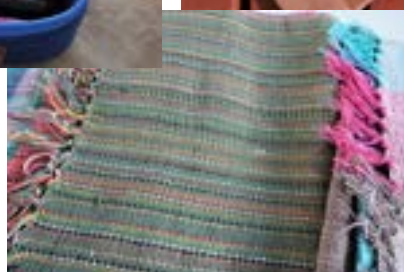
過年度の在庫を減らすとともに、新しい製品を発注し、ラインナップを充実させたため、前年度より、仕入れ額が大幅に回復した。入荷数は下表のとおり、合計235点であった。

生産者団体	製品
Lampara house (ランパラハウス/フィリピン)	手織り布マルチケース30点、マスクケース10点 (約20,000円) *前払い金残額
APIKRI (アピクリ/インドネシア)	新規の仕入れなし
Baan Tho Fan Project (バーン・トー・ファン/タイ)	めがねケース45点、ブックカバー50点 (約38,000円)
Shakti Handicraft Workshop (シャクティ・ハンディクラフト・ワークショップ/ネパール)	さをり織ランチョンマット(シルク)20点、さをりショール29点
MKS Craft (エムケーエス・クラフト/ネパール)	ブランケット6点、ティーポットカバー10点、コースター10点、アームカバー(子ども)15点、レッグウォーマー10点 (約42,000円)

【生産者の状況】

各国の状況は落ち着いてきてはいるものの、経済的回復にはまだまだほど遠い。フィリピンでは都市封鎖が断続的に行われ、移動制限もあった。11月にはAWEP支援者から寄贈を受け、日用品や食品をランパラハウスを通じてフィリピンへ寄贈した。徐々にではあるが、生産活動が本格的に再開し始めた。

インドネシア・アピクリには発注をしていない。



II 活動の詳細

1 海外事業

- (1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動
- ② 国内販売活動によるフェアトレードの促進

【卸売り】

登録店舗宛てに販促メールを5回発信、新製品の紹介を中心に、季節ごとにおすすめ製品を提案した。本年度は、会員の方からのご紹介で新たにフェアトレードショップアジュール（石川県）が登録店舗に加わった。また、学生グループの、ナムチャイ（宇都宮大学）、GCP オーバーシーランド（羽衣国際大学）、Fuku Color（関西学院大学）に、学祭などで販売していただいた。厳しい経済情勢が続いているが、今後も登録店舗にとっての利益を考えながら、卸売を促進したい。

【イベント販売】

2021年度もコロナの影響でイベントがなかったが、講演時に会場で販売させていただいたり、講演前後の期間に主催センターで販売をしていただいた。（2020年度イベント出店は3回）

- 10/29 コープ大久保
- 12/9 コープ宝塚
- 2/18 川西市男女共同参画センター
- 3/5 伊丹市男女共同参画センター
- 3/8 コープこうべ

*いずれも講演時販売

【経路別の売り上げ（月毎の推移）】



II 活動の詳細

1 海外事業

- (1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動
 ② 国内販売活動によるフェアトレードの促進

【ECによる販売】

Sooooos.での売上は前年度より減ったが、BASEでの売上件数は前年度と比較して約4倍の増加となった。2つのサイトでの販売を合計すると、件数で約2倍、売上で約3.6倍になった。

なおminneは3年間売上実績がなかったため閉鎖した。

*カッコ内は前年度実績

サイト	販売件数	売上
BASE	26(7)	152,463(23,997)
Sooooos.	5(8)	16,399(23,150)
minne	0(0)	0

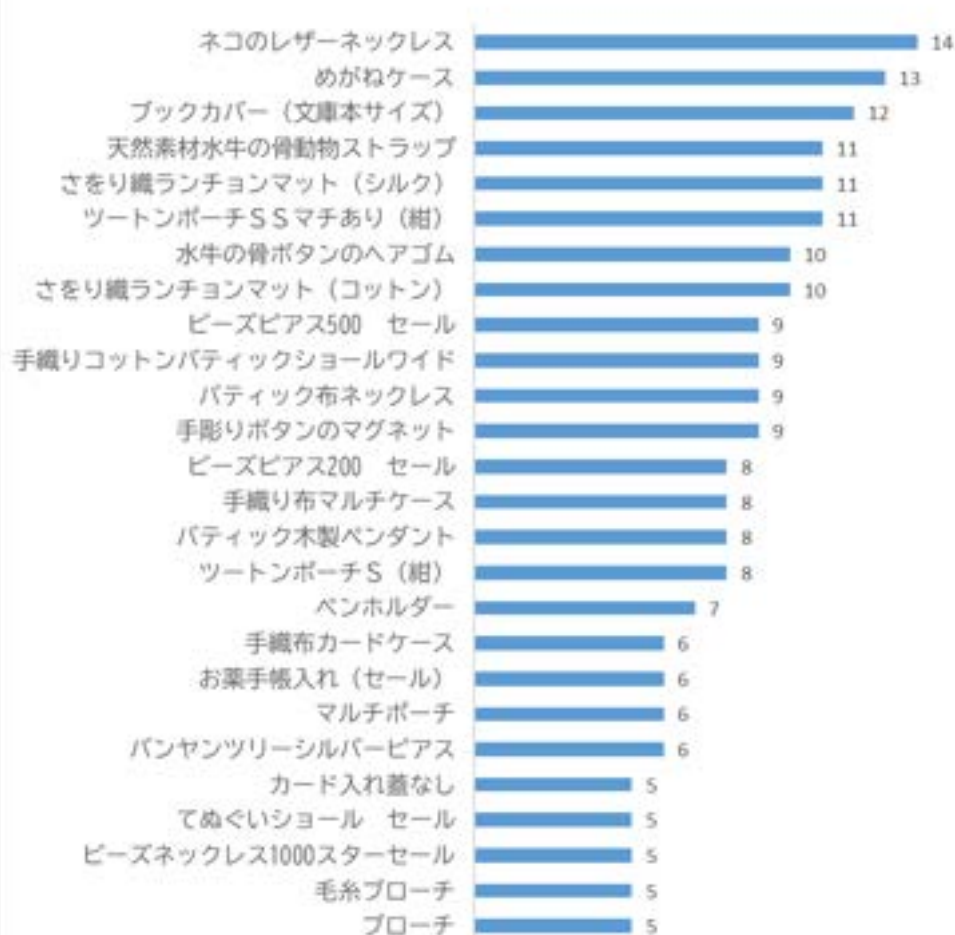
【製品別売上個数】

(参考数値)

製品別の売上では、前年度と同様の傾向がみられる。

アクセサリ類は委託のイベント販売で売れた。

2021年度売上点数順位 (5点以上)



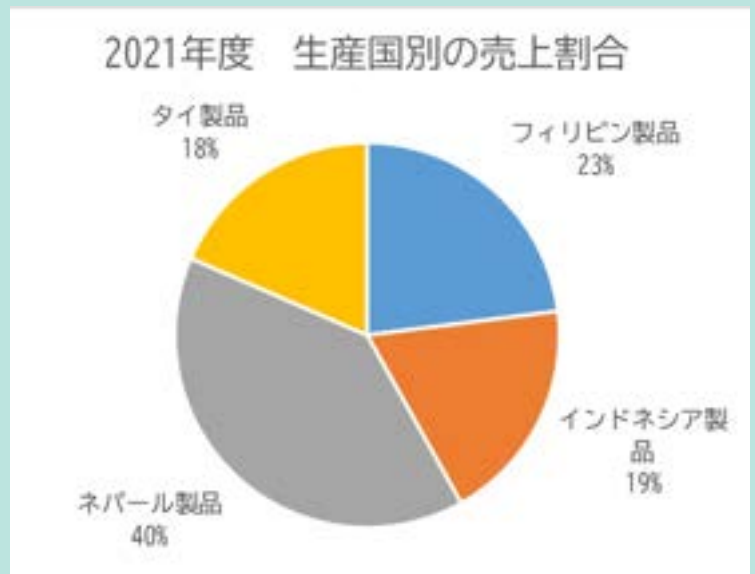
II 活動の詳細

1 海外事業

- (1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動
- ② 国内販売活動によるフェアトレードの促進

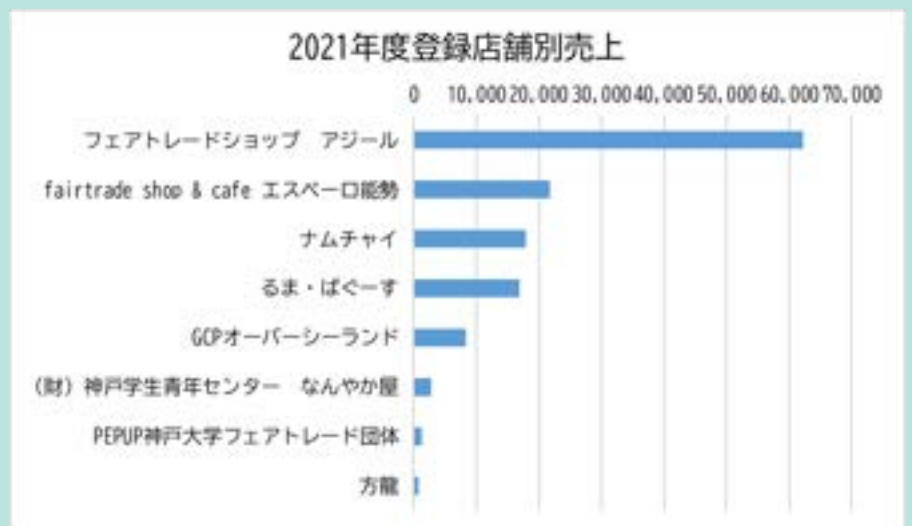
【国別の売り上げ比較】

最も多かったのは前年度と同じくネパール製品で40%（168点）、次いでフィリピン製品23%（62点）、インドネシア製品の19%（63点）、タイ製品の18%（57点）であった。昨年度売上のおよそ半分がネパール製品だったが、やや減少し、フィリピン製品の売り上げが前年度の10%から大幅に増えた。



【登録店舗別の売り上げ】

卸販売の実績は右記の通りであった。
フェアトレードショップアジールは新規にご登録いただいた店舗である。



II 活動の詳細

1 海外事業

- (1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動
 ② 国内販売活動によるフェアトレードの促進

【すまみらい×AWEP×PEPUP共同事業】

神戸大学フェアトレード団体のPEPUPのメンバーと、AWEPのボランティア高松夢子さんが、NPO法人すまみらい（神戸市須磨区）と共同して10月30日にすまみらいのカフェamicoを会場にイベント「さんこそさんこカフェ」を開催した。関係者にも好評で、2022年度も実施を予定している。



【関西学院大学武田ゼミ学生グループ】

関西学院大学の学生グループが、販売が厳しい製品を活用して新しい製品に再生して販売に取り組んだ。通販サイトに掲載したところ、学生によるSNSを活用した販売促進も功を奏して、好調な売れ行きだった。ネパールボタンを活用したマグネットは在庫もあるため今後も継続して制作し販売したいと考えている。



II 活動の詳細

2 国内事業

(1) 日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

① 生活相談事業

【相談件数】

23ケース

- 初回の相談手段：電話（13件）、メール（8件）、来所（2件）
- 国籍：フィリピン、ベトナム、ニュージーランド、ベルギー

【主な相談内容・傾向】

在留資格に関することをはじめとする行政手続きについての具体的相談、DV、離婚、労働問題、コロナ禍の影響から健康問題や生活苦を訴える相談も増加した。

相談内容に応じ、情報提供・NGO神戸外国人救援ネットをはじめとした関連団体への紹介・面談同行といった対応をした。

県外からのメールによる問合せが増加した。他県の支援団体への橋渡しを行い、ビデオ通話での対応も取り入れた。

② 情報提供事業

【あんしん通信】

1) メール

発信内容の情報を収集・選択し、やさしい日本語に直し、英語に翻訳。2021年度はNo.323からNo.336まで、全14回発信。外国語による生活相談・法律相談、イベント・暮らしの情報、行政からのお知らせなど様々な内容を発信した。

2) インタネットラジオ

ラジオ番組は全7回配信。日本語とタガログ語で当事者の生の声を届けた。

第1回（2021年4月）タガログ語の教育ガイドブック/アースディについて

第2回（2021年7月）コロナワクチン接種の経験から

第3回（2021年8月）多言語おやこえほん・家の中の事故について

第4回（2021年10月）スマホを紛失したときの対応

第5回（2021年12月）マサヤンタハナン クリスマスパーティのお知らせ

第6回（2022年2月）コロナ禍での出入国 ゲスト：リザさん

第7回（2022年3月）海外在住家族の扶養控除

3) Facebook ページ「あんしんつうしん」への投稿

タガログ語での生活情報の提供、他団体発信の情報のシェアを適宜行った。

II 活動の詳細

2 国内事業

(1) 日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

② 情報提供事業

【学校生活・教育に関するガイドブック
(英語版)の制作】

昨年度作成したタガログ語ガイドブック
(日本の学校教育・就学手続き・教育援助・多文化共生サポーター制度・学校の年間行事等を、神戸市の事情に特化しより具体的にわかりやすく説明)を英訳し、英語版を制作。タガログ語版も増刷。今後、他の支援団体や国際交流協会等を通じて配布予定。



【「あんしんつうしん」字幕作成、アーカイブ化】

2020年4月～2022年2月分の「あんしんつうしん」インターネット番組配信の動画に日本語字幕をつけてアーカイブ化。Youtubeチャンネルにアップロードし、団体のウェブサイトから必要な時にいつでも視聴できる仕組みにした(合計16本)。併せて、外国人住民がアクセスすることを想定し、ウェブサイトの再構築も行った。

【動画作成】

行政情報など生活に必要な情報のツールやアプリなどの使い方を解説した動画を作成しYoutubeチャンネルにアップロード、ウェブサイトに掲載(9本)。コンテンツの収集や動画作成に関西学院大学国際学部の学生グループが参画した。コンテンツの精査やチェックは相談通訳翻訳等担当スタッフと、インターネットラジオ配信を委託している特定非営利活動法人エフエムわいわいがアドバイザーとして関わった。



https://youtube.com/playlist?list=PL4joY-lh1ly-HitHQmBCJ67Rk_tMmEf2A

II 活動の詳細

2 国内事業

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

① 他団体との関係強化

【NGO 神戸外国人救援ネット】

- 運営委員として鋤柄理事（オブザーバーで奈良理事）が毎月第2月曜日の運営委員会に出席し、運営、事業に参画した。
- NPO法人化を進める委員会に、鋤柄理事がメンバーとして参画。法人化委員会（不定期）への参加、定款等必要書類の作成を行った。

【ひょうご DV 被害者支援連絡会（HYVIS）】

2021 年度も 鋤柄理事が HYVIS 代表 を引き受けた。兵庫県内の被害者支援団体との定例会議 5 回) のほか、神戸市、兵庫県の DV 被害者支援担当者との懇談を行った。

(定例会議以外の内容は下記の通り)

- 10月13日オンライン公開講座「こころとからだの休日～ボディワークでストレスマネジメント！」VOL.1（講師：栗岡多恵子）神戸市委託事業
- 11月20日オンライン公開講座「共同親権って安全なの？」（講師：小川富之）兵庫県補助金事業。西宮市後援。
- 2月19日オンライン公開講座「こころとからだの休日～ボディワークでストレスマネジメント！」VOL.2（講師：栗岡多恵子）神戸市委託事業
- 3月13日オンライン公開講座「DV被害者支援機関・支援者に求められていることー被害者支援の経験・被害者からの声を参考にー」（講師：増井香名子・岩本華子）神戸市委託事業。

【移住者と連帯する全国ネットワーク】

- 6/12,13 全国ワークショップ参加
- 女性部会企画に参加

【関西 NGO 協議会】

- 本協議会がコーディネーションする龍谷大学の国際協力入門の講義に協力

II 活動の詳細

2 国内事業

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

② 勉強会、セミナーの実施

【外国にルーツをもつ女性のためのおしゃべりのつどい】

神戸市「協働と参画」推進助成金事業

- ・月に1回、毎月最終土曜日の13：30～16：00に実施。
- 第1回：2021年9月18日(土)
 - ・場所：須磨区文化センター 3階 和室
 - ・参加者：フィリピン出身女性3名（内1名は通訳担当）、インド出身女性1名、日本人女性2名、スタッフ・ボランティア 3名、専門相談員として社会保険労務士1名。
 - ・話題：年金に関する質問、雇用保険・就職に関する質問、夫との関係、ジェンダー問題
- 第2回：2021年10月30日(土)
 - ・場所：たかとりコミュニティセンター2階 和室（以下同じ）
 - ・参加者：フィリピン出身女性2名（内1名は通訳担当）、スタッフ・ボランティア 3名、（内1名は専門相談員（行政書士）として対応）、オブザーバー参加（関西学院大学の学生女子2名、男子2名）
 - ・話題：在留資格について、永住許可申請について、来日してからの自身の経験、日常生活での悩み、仕事の悩み
- 第3回：2021年11月27日（土）参加者なし（スタッフ・ボランティア 2名待機）
- 第4回：2021年12月25日（土）
 - ・特別プログラムとしてセルフマッサージ講座も開催
 - ・講師1名、フィリピン出身女性2名（内1名は通訳担当）、スタッフ・ボランティア2名
 - ・話題：身体の不調（冷え、腰痛、アレルギー症状）、年末年始の過ごし方
- 第5回：2022年1月29日（土）、第6回：2022年2月26日（土）
 - ・参加者なし（スタッフ・ボランティア 2名待機）
- 第7回：2022年3月26日（土）
 - ・特別プログラムとしてセルフマッサージ講座も開催
 - ・参加者：講師1名、フィリピン出身女性1名（通訳担当）
コロンビア出身女性1名+日本人配偶者1名と子ども1名、
ペルー出身女性1名、日本人女性1名
スタッフ・ボランティア3名
 - ・話題：身体の不調（更年期障害、老眼）、ストレス解消の方法



II 活動の詳細

2 国内事業

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

③ 講師派遣・視察訪問などの受け入れ

【講師派遣】13件（前年度9件）

- 4/26 県立大学看護学部特別講義
- 10/13 龍谷大学「国際協力入門」講義
- 10/29 コープ大久保「エシカル消費」講演
- 11/12 神戸市シルバーカレッジ講義
- 11/16 光華女子大学講義
- 12/9 コープ宝塚「エシカル消費」講演
- 12/15 女性のための同行支援講座講義
- 12/22 京都外国語大学講義
- 1/12 関西学院大学総合政策学部ゲスト講義
- 2/18 川西市男女共同参画センター講演
- 2/23 すまみらいシンポジウムパネリスト
- 3/5 伊丹市男女共同参画センター講演
- 3/8 コープこうべ第3地区講演



【視察等】1件

- 8/2 大阪弁護士会ヒアリング対応

【インターン受け入れ】2件

- 7/7 関西国際大学インターン 4名
- 7/26, 8/2 大手前大学インターン それぞれ5、6名

④ 連携事業

【女性による女性のための相談会】

NPO法人ウィメンズネットこうべが神戸市から受託した「女性のためのつながりサポート神戸」事業に協力団体として参画した。

9月から3月まで、月に1回、あすてっぷKOBEを会場に、女性の専門相談員による相談と食品などの物資を配布する相談会を開催した。AWEPから実行委員として2名、当日は外国人専門相談員1名が参加した。相談状況の分析など報告書のまとめも担当した。

ニーズが高かったため2022年度も事業実施が決まっており、協力団体として参加する予定である。



II 活動の詳細

2 国内事業

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

④ 連携事業

【神戸コミュニティフォーラム】

公益財団法人神戸国際コミュニティセンターからの委託で、「多文化共生」をテーマに第6回神戸国際コミュニティフォーラムの企画運営を行った。

12月19日 神戸コミュニティフォーラム（本フォーラム）と、ポストイベントとして、2月6日、2月16日に街歩きを、3月13日にワークショップを行い、神戸を多文化共生の街にする企画案を参加者とともに議論した。

報告書は下記のサイトに掲載されている。

<https://www.kicc.jp/ja/topics/6>



3 広報活動

(1) AWEP説明会

ボランティア、インターン、調査希望などの方を対象に説明会を行なっている。本年度は、6回実施し、6名の方が参加された。そのうち、5名の方にボランティアに登録いただいた。（4/15、6/16、6/17、10/14、12/22、3/9）

(2) ニュースレター

（デザイン・編集：井之上章子）

6月にVol. 54を500部、12月にVol. 55を500部、発行。支援者や関係機関に送付したり、講演会などで配布したりした。製品購入者にもバックナンバーと一緒に送付した。なお、発行したニュースレターをPDFにし、ウェブサイトに掲載している。

(3) ネット広報

ウェブサイトの更新の他、適宜Facebook、Twitter、Instagramで発信した。関西学院大学武田ゼミの学生グループやボランティアによる投稿の充実で、フォロワーが166人に増えた。また、FacebookとInstagram、通販サイトのBASEのリンクができるようになり、SNSによる販売促進の効果が高まった。

(4) 交流活動（ファンファンパーティ）

コロナ禍の影響もあり、会員や支援者の方々との対面の大きな交流がほとんどできなかったが、8月にボランティアの歓迎会、3月の棚卸し作業の後に小さな交流会を実施できた。

II 活動の詳細

4 助成金の実績

助成金名	事業名	助成金額	内容
公益信託神戸まちづくり六甲アイランド基金	在住外国人女性に向けた情報発信・相談活動の強化及び当事者の発信力を強化する事業	500,000	相談事業、あんしん通信事業
神戸市「協働と参画」推進助成金	外国人住民の孤立化防止事業	217,200	相談事業、あんしん通信事業
三菱財団・中央共同募金会 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成事業（2021年9月まで）	地域に暮らす外国にルーツがある女性のための相談・情報発信事業	383,321	相談事業、あんしん通信事業
中央共同募金会	地域に暮らす外国にルーツがある女性のための孤立防止事業	1,863,736	相談事業、あんしん通信事業

III 活動の実施体制

1 意思決定と実務の体制

項目	内容
会議	①通常総会 2021年5月29日（土） ②理事会 2021年5月29日、9月30日（オンライン）、2022年2月4日（オンライン） ③事務局会議 原則毎月第1水曜日に開催
事務局の体制	<スタッフ>（敬称略） ①事務局長（総務・財務）：鋤柄利佳 ②全体統括・海外事業：奈良雅美 ③国内事業：鋤柄利佳、野田ジーン <ボランティア>（五十音順、敬称略） 井之上章子、いなだ多恵子、オウシセン（Wang Zixuan）、岡内克江、鹿嶋節子、坂田真生、高松夢子、チェイス洋子、西松はる、樋口景、スワティ・ミタル（Swati Mittal）、松浦あおい、宮本由幾、和智紀美子、（岩崎祐子・美結） ＊ボランティア活動時間合計：延べ約380時間（在宅活動除く）
他団体との協力	<地域> （特活）たかとりコミュニティセンター（神戸市長田区）：同センター所属のメンバーとして連携し地域の活動に取り組む ・定例連絡会（毎月第1、3土開催） ・理事会への理事派遣（年4回開催） <女性支援・外国人支援> 1. 神戸外国人救援ネットの運営委員としての活動 ・運営会議出席（毎月第2月曜日） 2. ひょうごDV被害者支援連絡会（HYVIS）の構成団体としての活動 ・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（偶数月第4水曜日） 3. （特活）移住者と連帯する全国ネットワーク：正会員として参加 ・女性プロジェクトチームに参画 <国際協力> （特活）関西NGO協議会（大阪市）：準会員として活動に協力

III 活動の実施体制

2 支援者のみなさま

2021年度も多くの方のご助力、ご尽力のおかげさまで活動することができました。心より感謝申し上げます。

	お名前（五十音順、敬称略）
運営会員 (22名)	縣 晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 梅田麻希 岡内克江 太田和宏 鹿嶋節子 神田慧太 木住野舞 木村寿子 定藤繁樹 鋤柄利佳 高木健作 武田 丈 チェイス洋子 仲尾育哉 奈良雅美 西脇鈴代 藤井洋子 藤川真澄 もりきかずみ 吉野太郎
賛助会員 (46名) *内5名の方は 匿名	井原由紀子 エスピーロ能勢 王貴美子 大森恵実 木村恵子 木村淳子 坂本陽子 佐渡いづみ 清水晴美 下村知子 白井廣美 鈴木雅子 鈴木迪子 高木澄子 高月 渚 高原幸子 太治和美 谷口幸子 特定非営利活動法人すまみらい 中川加代子 中嶋悦子 中嶋秀昭 中野由貴 中森俊久 西海ゆう子 野見山美香 長谷川美代子 服部尚美 ビーンズ・アクト 飛田雄一 平等文博 日比野純一 藤井智子 藤田ふみ子 松代東亜子 三谷順子 宮本由幾 三好宣子 村上菜摘 モニカ ヘレン マカラエグ カヒログ 山本裕子
役員	理事：梅田麻希 太田和宏 香取千晴 定藤繁樹 鋤柄利佳 野田ジーン 奈良雅美 監事：いなだ多恵子 仲尾育哉

2022年3月31日時点

IV ボランティアの振り返り

2021年度に活動したボランティアのうち3名の方から、活動の振り返りを書いていただきました。（一部の方になりますが、ご理解ください）

坂田真生さん

昨年の6月ごろより新しくメンバーとして活動に参加させていただいています、坂田真生（まい）と申します。今は昨夏から始まったドイツの大学でGender and Diversity（ジェンダーと多様性）という学問を専攻しています。昨年は主に国外事業の製品管理に携わり、作業も慣れてきた中盤ではFBICにてフェアトレードに使われる技術や人々のライフスタイルなどをコラム化しました。今はドイツより遠隔でウェブサイトの英訳作業をしています。AWEPで得た経験・知識はどれも私一人の中で留めておくには意義が大きく、世界各国から来る大学の同志や教授、また日本にいる知人にももっと知ってもらいたいものばかりです。そのためこの先私観点から出せる物事があれば是非出したいと思っています。今後もよろしくお願ひします。

松浦あおいさん

皆さまこんにちは。ボランティアの松浦あおいです。私はこの一年間を通じて様々な経験をさせていただきました。海外事業では、冬物製品のデザイン計画を始め、その他製品の魅力をSNS媒体を活用して皆さまにお届けさせていただきました。国内事業では、女性による女性のための相談会でのインテークや、相談記録の入力作業などを主に行いました。一つ一つの活動から多くの学びを得ることができ、大変勉強になりました。実際の活動を通じて、楽しさを実感できたと同時に、様々な社会的課題を発見することができました。「自分には何ができるのか」を追求しながら今後も活動していきたいと思ひます！ありがとうございました。

宮本由幾さん

ちくちくボランティアをしています。京都在住で垂水の実家に通う途中、月に1、2回ほどボランティアに入っています。

主に製品の修繕やタグ付けをしています。縫製の仕事が無いときは、片付け、整理、データ入力をしています。

一度学生主催のイベントで販売のお手伝いをした時は、彼らの世界を良くしようという理想と実行力に感動しました。

困難を抱えたアジア女性の自立のために活動されている方々と繋がることができ、微力ですがお手伝い出来ることを嬉しく思っています。



子ども新聞「週刊まなびー」(神戸新聞)

2021年12月25日に子ども記者の岩崎実結さん(小学5年生)がAWEPを取材し記事にしてくださいました。(2022年1月14日掲載)

その後も製品を購入したり、棚卸のボランティアに参加されました。

子どもたちも活動できる、学べる場になればと思います。